



酪農情報

～第10号～



発行日：平成18年10月25日

発行元：バイオ科学株式会社

☆酪農家紹介☆ 群馬県前橋市 倉賀野牧場様

☆今回は、雑誌「Daily Japan」(2006年9月号)でも掲載された倉賀野牧場様を紹介します☆

- 飼養頭数：①経産牛58頭 ②乾乳牛11頭 ③子牛・育成 35頭
- 平均乳量：30kg/日/頭
- 飼養施設：フリーバーン
- 繁殖成績：①受胎までの受精回数 平均1.9回 ②空胎日数 平均114日
③分娩間隔 平均391日
- 乳肝の使用期間：平成18年7月～現在に至る
「使い始めて3ヶ月だが、分娩した牛は約20頭います。」
- 乳肝の使用ステージ：乾乳期の約2ヶ月間
- 給与量：100g～200g
「分離給与だが、配合に混ぜて給与すれば嗜好性に問題はない。」
「乾乳期は乾草12kg、配合2.5kg、分娩前に泌乳期用TMRを慣らし給与しています。」

～乳肝との出会い～

診療・受精等をお任せし、とても信頼している獣医師さんからの紹介です。今年6月に、分娩後、乳房炎になった牛が4頭続けて出てしまいました。そこで、何か良いものはないかと相談したところ、紹介してもらったのが「乳肝」です。以前から、分娩後の乳房炎対策は大きな課題でした。一番の原因は、肝機能の低下と感じていました。実際、以前行った保健所での血液検査でも、肝機能の低下が認められていました。それでも、繁殖成績・乳量ともに特に問題はなかったもので、特別な対策を打たずにきました。しかし、肝機能の低下により→エサが食べられない→脂肪肝→ケトosis→第4胃変異という負の悪循環、乳房炎による体細胞数の増加などを経験したことで、肝臓の大切さを改めて実感しました。そんな中出会ったのが「乳肝」でした。

～使用して実感した効果～

- 分娩後の立ち上がりが順調。
- 乳房炎・体細胞数の減少。平均30万⇒平均18万（最近のデータを見せていただきました）
 - ① 検査日：平成18年9月7日 体細胞数 28万
 - ② 検査日：平成18年10月5日 体細胞数 9万
 - ③ 検査日：平成18年10月17日 体細胞数 18万

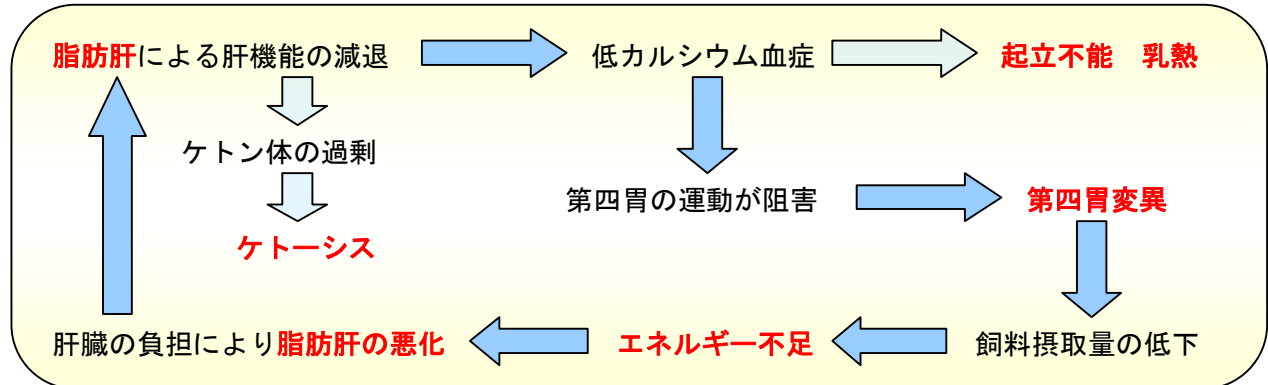
「以前は、肝機能の低下から、乾乳中～分娩後に乳房炎を発症する牛が多かったのですが、乳肝給与により、肝機能が改善し免疫力が向上したことで、分娩後の乳房炎が無くなり、その結果体細胞数が減少したと思います。獣医師さんも分娩後の診療が無くなったと驚いていました。体細胞も減少し、フリーバーン牛舎に変えてから初めて10万を切ったのには本当に驚いています。これからも乳質に関してどんどん厳しくなってきますので、乳肝はこれからも必須です。乳価の低下など、状況は不安定ですが、乳肝は十分な投資対効果が出ると思います。」

～これからの目標～

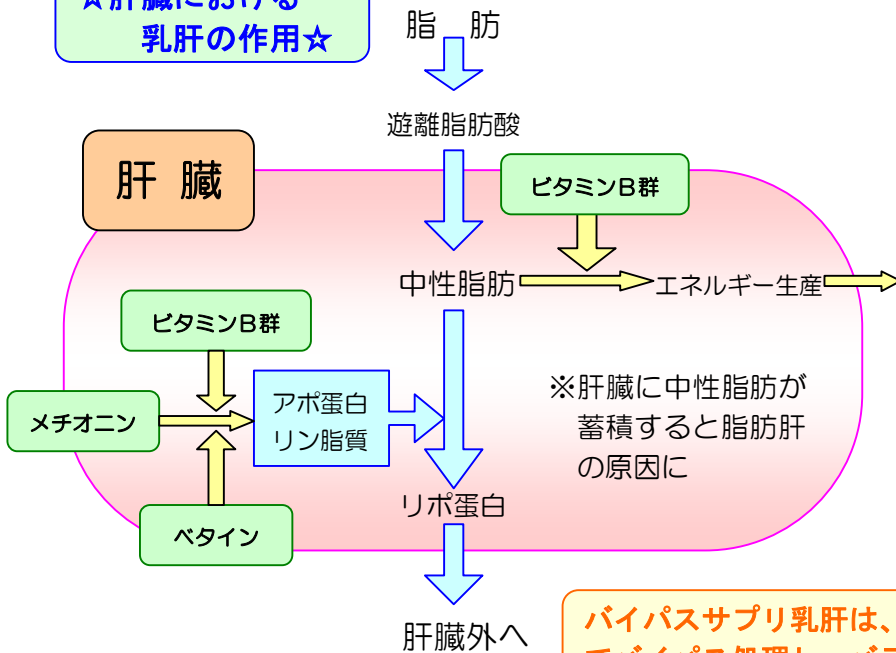
「常に目標を持って取り組んでいます。分娩間隔を400日以下にする、体型審査で80点牛群と乳量10,000kgを目指すなどです。数年前から分娩間隔は400日を切り、乳量も個体乳量で10,000kgを超える牛も出てきました。最大の課題は乳房炎・体細胞でしたが、乳肝のおかげで改善することができました。連産性など、まだまだ課題は多いですが、今の状態をしっかりと維持して、更なる向上心を持って取り組んでいきます。」

☆脂肪肝対策と乳肝☆

☆脂肪肝による周産期疾病の悪循環☆



☆肝臓における乳肝の作用☆



脂肪肝対策＝肝機能の正常化
乳肝の作用は、機能低下により肝臓に蓄積された過剰な脂肪をリポ蛋白やエネルギーに変換して肝臓外へ運び出してやることです。肝臓に蓄積された脂肪を取り除くには、左図のようにリポ蛋白の合成に働くメチル基供与体（メチオニン、ベタイン）と、エネルギー生産に働く補酵素（ビタミンB群）を給与することが効果的です。また、両方をしかも同時に給与することにより、相乗効果が期待できます。

バイパスサプリ乳肝は、肝臓を健康にする栄養素をすべてバイパス処理し、バランス良く配合しています。

blo バイオ科学株式会社

ホームページアドレス

<http://www.bioscience.co.jp/>

本社・工場 徳島県阿南市那賀川町工場地 246-1
札幌営業所 北海道札幌市東区北 31 条東 16-2-3
帯広営業所 北海道帯広市西 6 条南 6-3 ソセビル 5F
福島営業所 福島県伊達市館ノ内 38-44
関東営業所 栃木県宇都宮市御幸町 44-1
阿北営業所 徳島県板野郡上板町七条字古町 54-1

TEL:0884-42-3090
TEL:011-786-8399
TEL:0155-25-0002
TEL:024-584-2808
TEL:028-663-1129
TEL:088-694-6282